

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17 時



タイトル「みんなでなわとび」



コメント：保育園で縄跳びの練習を楽しくがんばっています。

さいとうしゅん
齊藤 駿 さん 6 歳 (年長)

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味が沸いたらご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30 字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたは FAX にてお送りください。

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

1 月 10 日号の予定			1 月 25 日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	1 月 7 日（木）	午後	封入作業	1 月 22 日（金）	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
発送作業	1 月 8 日（金）	午前	発送作業	1 月 25 日（月）	午前	

にっしんふるさと交流会（参加者感想）

イベントに参加して、久々に皆さんともお会いできてうれしかったです。子どもたちはボランティアの皆さんに遊んでもらって楽しみました。バーベキューも準備から片付けまですべて、日進の皆さんがお世話をしてくださり感謝です。貴重な情報交換の場をありがとうございました。（N.M）

ボランティアの方々や同じ避難者の方々と、何気ないお話をし、楽しい時間でした。こうして楽しむ心を持てるようになったのも、長きに渡って支援を続けてくださった皆さまのお陰と本当に感謝しております。愛知淑徳大学のういるくの学生たちとたくさん遊んでもらって子どもも大喜びでした。食材にも気を遣っていただき、本当にありがとうございました。（T.K）



＜参加者全員での集合写真＞

交流会は、いつも娘と参加していたのですが中学生ともなると用事があり、10月4日は初めて1人の参加となりました。晴天に恵まれ少し暑いくらいでしたが、新鮮なお野菜とお肉たっぷりのバーベキューをいただきました。久しぶりの交流会でしたが、何回か参加するうちに、少しずつですがお友達も増えて1人で参加しても楽しく過ごすことができました。継続して交流会を開催していただけるのは、本当にありがたいなあと思いました。（三浦みゆき）

日々の生活に追われてなかなか皆さんと会えないので、このような交流の機会に避難者同士で話ができると、「理不尽な大事故のせいで苦しいが、耐えどころだ」とパワーが湧いてきます。当日はたくさんのスタッフの方が、肉や野菜や焼き芋を焼いてくれました。おにぎりを作ってくれていた方に米の産地を聞いたら「わからない」と言われ、判断に困りました。内部被曝を考えると大事な情報です。ともあれ楽しいバーベキュー交流会をありがとうございました。（ペンネーム：地産地消）

日進市交流会では新しい方々と顔見知りになれて、自分のいろいろな想いを伝えることができました。また、私たち母子移住者は家族の時間が極めて少ないです。なので、娘と一緒に賑やかな時間を過ごしたい！という思いもあって、たくさんの方々と楽しく過ごせて、とても貴重な1日になりました。



＜食後の自由時間に遊ぶ子どもたち＞

いろいろな想い、原発という負の宝を、問題とじて行動する大人がどれだけいるのでしょうか？3.11の14:46から、一人ひとりに必要のない欲を手放す勇気が試されていると感じます。それぞれが問題に気づいた時、皆が安心して暮らせる世の中へと変わる力になると思います。

原発事故はまだ終息していないし、遠い所で起こった他人ごとではない。“地球はみんなで1つの生命体”、被災者・避難者以外の人たちも、自分ごととしてとらえて行動して欲しいと強く感じています。（三原香奈子）

リレートーク①

私は千葉県から愛知県へ避難してきました。最初は避難できたことでホッとしましたが、愛知県にずっといる人が放射性物質を避けるという感覚を持っていないということに驚き、戸惑いました。原発事故避難者には健康不安があります。食べ物を気にします。しかし、その不安を解消してくれる仕組みも、口に出せる場所もありませんでした。

子どもへの環境対策として、関係機関の協力をいただいて公園の砂や給食の食材を測定に出しました。こういった費用を個人で負担するのは楽ではなかったのです。しかし、放っておいたら他に誰かやってくれる人もいなかったのと、原発事故が起きるまでは世の中のことなど何も考えずに暮らしてきたことへの反省もありました。幼稚園ママとランチしたり、テニスや昼飲み会をしたり、バーベキューやクリスマス会をしたり、先生の結婚式でプレゼントするクラスの子どもたちからの歌&メッセージDVDを作ったりしました。書いて涙が出るくらい、毎日本当に楽しかったです。でも子どもたちに対して、大人としての責任を果たしてきたとは言えないのだと、原発事故の後からは思うようになり、少し頑張ってもできることをやっていこうと思いました。

子どもの給食での対策について、名古屋市ではストロンチウムを測れる機械をチェルノブイリ事故の後に買って測定していたのに、福島原発事故の後には全く動かしておらず眠っています。品川区のように給食食材のストロンチウムを測定する流れになっていって欲しいです。気になる方はぜひ声を挙げてみてください。

子どもの甲状腺については、今後手術が必要になった場合に経験のある医師が、ほとんどいないことを不安に思っています。関東などいくつかの都市の甲状腺検査結果では、要精密検査の子も出始めています。外科医は、チェルノブイリでの経



＜濱田農園の収穫イベント参加時の写真(右)＞

験を持つ医師などの元へ研修に行ってもらいたいです。

私たちが心配しているのは甲状腺だけではありません。他のさまざまな病気や症状をケアする仕組みはまだありません。その仕組みや理解が得られるまで、せめて自分たち親が見逃さないように、後の診断に役立てることができるよう、健康ノートで記録していくのがいいのではないかと思います。昨年度、愛知県被災者支援センターの「やりたいことサポート」で健康ノート普及を支援していただきました。本当にありがとうございました。希望する避難者の方々に健康ノートをお渡ししましたが、行き渡りましたでしょうか？

原発事故避難者が避難してきた理由でさえ、気軽に言えない風潮があるということは、まだまだ解消されていません。テレビや新聞ではあまり原発事故のことをやっていませんし、日常生活で気軽に話せる環境もできてはいません。なかったことにしたい人たちがいて、なかったことにした方が楽なので、世の中は私たちの存在を見ないようにするのでしょう。でも、子どもたちの未来を考えた時に、楽な方を選んで後々問題が大きくなったり、ツケを残すことになったりすることもあるので、勇気を出して伝えていこうと思います。

(避難元千葉県松戸市 渡辺優子さん)

リレートーク②

11月8日(日)に、めぐりあいの会の交流会「いも煮会」を今年も行いました。今回は、あいにくの雨でしたが、雨でもできます！いも煮やバーベキューでお腹いっぱい食べて、飲んで、話して、とっても楽しい時間でした。

この「めぐりあい交流会」、始まりは震災翌年、春の「花見会」でした。それからキャンプ、バーベキュー、いも煮会と毎年3、4回の交流会を4年間続けてきました。これだけ続けてこられるのは、すごいことではないかとあらためて感じています。始まりを思い出してみました。

避難してきた自分たちで交流会をしたいという私と、避難してきた人と一緒に考えて交流会を開きたいと言ってくださった名古屋キリスト教社会館の谷川さんを引き合わせてくれたのは、被災者支援センターの瀧川さんでした。近所の常連さんしかこないような喫茶店、私と息子と谷川さん、一体どんな方なのだろう？と不安いっぱいでしたが、正直に！思っていることを話した覚えがあります。それぞれ抱える問題や気持ちは違うけれど、そういう面倒なことは忘れて「ただ一緒に時間を楽しめる交流会にしたい！避難してきた人同士が、たくさん話せるようにしたい、おいしいものが食べたい、おいしいものがあるならビールが飲みたい…！」お酒を飲みたいというところで「そうですね！僕もそう思っていたんです(^-^)」と、あ



<イベントの様子>



<鍋の前でいも煮を配る様子>

んまりうれしそうにおっしゃったので、そこで私の不安はなくなってしまいました。

おいしいものがあってお酒があるなら、お花見ですねと、最初の花見会が決まりました。時間を忘れて話したいなら泊まりがいい、キャンプなら子どもたちも楽しい、大人も子どもも楽しめるキャンプ！きっと、どこでも割とやっているけど、私の住んでいた南相馬でも、秋ごろにいも煮会をよくやった！と言うと、ではいも煮会で子どもたちも楽しめるよう縁日風に…。

「大人も子どもも避難してきた人たちも支援の人も、みんなで楽しい時間を共有したい」が、めぐりあいの交流会の根本です。いつも支えてくださる名古屋キリスト教社会館をはじめとするボランティアの皆さん、そしていつも子どもたちと思いきり、たくさん遊んでくれる学生の方々、ずっと変わらない支援に心から感謝しています。

この交流会で、たくさんの方々につながっていくことができました。「久しぶり！元気だった？最近どうしてる？」と近況を話せる友人や知り合いができました。同じ避難してきた人同士だから、安心して、話せることがたくさんあります。

そういう小さなつながりを参加している皆さんが感じてくれていたらうれしいです。

また春には、花見会をします(^-^)おいしいものを食べに、飲み、話に、みんなに会いに、遊びに来てくださいね。

(避難元福島県南相馬市 江本潤子さん)

ふれあいひろば小牧 交流会



＜昼食の料理を作っているところ＞

約3年前、家族4人で愛知県小牧市に避難してきました。知り合いもなく、慣れない土地での新しい生活に家族全員が必死でした。そんな時、愛知県被災者支援センター主催の懇談会が小牧市で開催されるとの案内をいただき、初めて参加しました。そこで支援センターの瀧川さん、向井さんとお話することができました。

いろいろな話をする中で、「交流会にも参加してほしい」とのお誘いを受けましたが、当時2歳と生後1ヶ月の子どもを連れて、名古屋市周辺の交流会に参加することは困難でした。「小牧市内の交流会なら参加できるのですが…」この一言がすべての始まりでした。

後日、向井さんから「実行委員として小牧市で交流会をやりませんか？」と連絡がありました。戸惑う私をよそに、あれよあれよと話が進み実行委員長をはじめ、多くのボランティアさんに協力していただき「ふれあいひろば小牧」が形となりました。調理は、西部地区婦人奉仕団、マーブルの会、コープあいち、傾聴ボランティアの皆さん、託児は高校生ボランティアの「ココボラ」の皆さん、運営サポートは小牧市社会福祉協議会の皆さんです。いつもたくさんのアイディアと意見をいただき、とても大きな力になっています。

11月8日（日）に、第9回「ふれあいひろば小牧」が開催されました。今回の昼食は、ちらし寿司・お吸い物・パウンドケーキでした。ボランティ

アのサポートを受けながら、参加者が賑やかに調理しました。詳しい作り方を聞きながら、自然と会話が弾みます。料理はとてもいい交流になると感じました。レシピをもらってかえったり、「家でも作ってみよう！」という声もありました。パウンドケーキには、生クリームとフルーツをデコレーションして、少し早いクリスマス気分を味わいました。

昼食後は、お茶を飲みながらのおしゃべりタイムです。各々、近況報告などをして、和やかに過ごします。毎回あっという間に時間が過ぎていきます。私にとっても同郷の訛りを聞いて、ホッとできる唯一の場所になっています。

何気ない一言から始まった「ふれあいひろば小牧」が第10回を迎えます。「いつでも、誰でも自由に参加できる交流会」を掲げて動き出しました。これまで参加された方は「楽しかった」「また参加します」などと声をかけてくださいました。

小規模でも参加してくださる方がいる限り、続けて行こうと思っています。そして、少しでも笑顔になって帰ってもらえるような交流会になればうれしいです。「小牧は遠くて…」という声をいただくことがあります、とてもいいところです！次回は2月28日（日）に開催しますので、どうぞお誘いあわせのうえ、ご参加ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



＜自己紹介の様子＞

（避難元福島県白河市 兼森良子さん）

あいちの産直&体験施設

～お買いものガイド～

第8回

愛知県西部に位置する尾張

その中で東側にあたる地域を特集

東尾張編

産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



今回は東尾張の、安心して食事や買い物ができるおすすめのお店を紹介します。尾張平野では、昔から野菜作りが盛んに行われてきました。冬の伊吹おろしを生かし、郷土料理の切干大根作りが行われています。サトイモや大根、レンコンを使った料理がよく作られる地域です。



PICK UP

茶和話

～木金土のカフェ&キッチンサロン～

場所： 長久手市岩作中縄手 3-4 コーポ東家 101

連絡先： (TEL) 090-4267-1359 (Mail) shop@sawawa.net

営業日時： 木・金曜日（ランチ&カフェ）11:30～17:00

土曜日（カフェ&軽食）10:00～16:30

日・月・火曜日（パン教室、料理教室等）不定期



自家製シナモンロールが自慢のカフェ。パンもランチも店内調理にこだわり、余計なものは入れず、『家族に食べてもらう思いで作る』をモットーとしています。地域の情報も集まる三世代コミュニケーション空間です。お店で使う食材は、時期によって直接地元の生産者さんから購入したり、自家製の野菜を使ったりしています。

<東尾張の産地直売所&ふれあい体験施設>

No	施設の名称	住所・場所	営業日時	連絡先
①	ファーマーズマーケットぐうぴいひろば	春日井市松本町 1-1-1	金～水曜日 9:00～18:00	0568-51-2882
②	かみかわようますじょう 上川養鱒場	瀬戸市上半田川町 1171	10:00～16:30(定休日:冬期の み 火曜日(12月～2月))	0561-41-0829
③	道の駅瀬戸しなの	瀬戸市品野町 1-126-1	9:00～18:00(食堂は 9:00～ 16:00)	0561-41-3900
④	Easy マルシェ	瀬戸市上品野町 665(祥 雲寺)	毎月第 1 火曜日 10:30～ 12:30	080-3622-0041
⑤	長久手田園バレー交流施設 あぐりん村	長久手市前熊下田 134	9:00～18:00(定休日:第 1 月 曜日(祝日の場合は翌平日))	0561-64-2831
⑥	日進野菜研究会	日進市蟹甲町池下 213- 1	日曜日・早朝(6:00～(夏季)、 7:00～(冬季))	0561-73-2197
⑦	どんでん朝市	犬山市犬山下本町商店 街アーケード	毎週火曜日 8:00～10:00	0568-65-0002

●産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。

施設のホームページからも詳細を確認していただけます。





旬のお出かけ情報

～日の出スポット～



新年のスタートに初日の出を見に出かける人も多いのではないのでしょうか。愛知県内では山だけではなく、建物や乗り物などから日の出を見られるさまざまなスポットがあります。普段と違った景色を観て、気持ちをリフレッシュして良い1年にしていきましょう！！



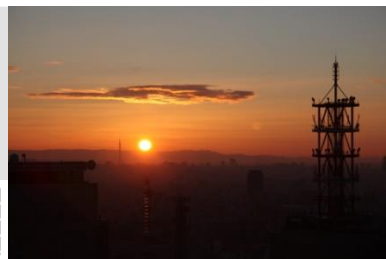
PICK UP

名古屋テレビ塔

場 所：名古屋市中区錦 3-6-15 先

アクセス：地下鉄名城線・桜通線「久屋大通」駅下車南改札を出て 4B 出口を上がってすぐ

連絡先：052-971-8546



平成 17 年（2005 年）7 月にタワーとして全国で初めて国の登録有形文化財に指定されました。90m のスカイデッキ、100m のスカイバルコニーからは名古屋の街並みが一望できます。名古屋の街並みとともに拝むご来光は、かなり素敵な景色です。名古屋のシンボルである「名古屋テレビ塔」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

<愛知県内の日の出スポット一覧>

No	名称	場所	アクセス	QR コード
①	ツインアーチ 138 (138 タワーパーク)	一宮市光明寺字浦崎 21-3	名鉄「一宮駅」・JR「尾張一宮駅」前より、名鉄バス「一宮総合体育館行き」で約 30 分、「138 タワーパーク」下車	
②	任坊山公園 みはらし台	半田市桐ヶ丘 4	名鉄河和線「知多半田駅」から徒歩約 20 分 または「成岩駅」から徒歩約 20 分	
③	ほうろくさん 炮烙山	豊田市坂上町朝日山	名鉄豊田線「豊田市駅」から車約 45 分	
④	竹島	蒲郡市竹島町 3-15	JR「蒲郡駅」よりタクシーで約 5 分	
⑤	三ヶ根山頂	西尾市東幡豆町入会山	名鉄蒲郡線「東幡豆駅」から車で約 15 分	
⑥	ひい 日出の石門	田原市日出町 伊良湖岬周辺	東名豊川 IC より車で約 90 分	
⑦	城北線 初日の出号	清須市西枇杷島町七畝割 108-13	JR「枇杷島駅」もしくは「勝川駅」より発車	
⑧	羽豆岬	南知多町師崎字明神山	名鉄河和線「河和駅」から海っ子バス約 30 分	

●詳しい情報は各施設のホームページ等をご確認ください。



スタッフ紹介 ～ 事務局 瀧川裕康 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第15回は事務局スタッフの瀧川裕康です。

私は現在 67 歳です。すっかり涙もろくなって、ほんの些細なことで涙をこぼします。「鶴瓶の家族に乾杯」というテレビ番組が好きです。主役の鶴瓶さんは、出会っていきなり、ずけずけといっぱい質問をします。しかし、それが全然失礼でなく、和やかな雰囲気が作れる素敵な人です。番組の中で良い出会いが紹介されるので、私は見終わるまでに何回も涙腺が緩みます。私も避難者の皆さんとあんな出会い方をすることがずっと夢です。皆さんは、縁あって愛知県に避難して来られましたが、今までに良い人との出会いがありましたか？どうか素敵な出会いを糧にして元気にお過ごしくださるようにお祈りいたします。



支援センターからのお知らせ

＜編集後記＞

- ★娘が受験生です。人気の図書館でたくさんの人が勉強しています。お昼は施設内のカフェでカレーラーメンを食べるのが楽しみです。(Y.S)
- ★りんごがおいしい季節になりました。無事にこの季節を迎えることがうれしいです。皆さま、どうぞお身体ご自愛くださいませ。(E.K)
- ★隠神社に友人家族と行きました。厳かで心が落ち着く素敵な所でした。でも、ものすごい人の多さ。今度は平日の朝に行ってみたいです。(Y.Y)
- ★秋ですね。枯れ葉が風に吹かれて広場でカサカサと音を立てています。(H.T)
- ★漫画「水木しげるの遠野物語」を読み、東北が懐かしくなりました。(T.N)
- ★このところ、あっという間の毎日。心して時間を使わないともう先送りできない、と自分に戒め。(K.T)
- ★2歳の姪っ子と中京競馬場の公園へ行きました。とても綺麗で子どもの安全にも配慮がされていて、おもいっきり遊べました。(K.I)
- ★乙種危険物取扱者2類合格しました。(J.I)

＜1月の交流会等イベントカレンダー＞

開催日	イベント名	開催地域
1月9日(土)	第35回パッチワーククラブ	東区
1月16日(土)	第40回囲碁クラブ	東区
1月16日(土)	今 あなたの 感じているままの想いを語る場	中区
1月20日(水)	里山を歩きましょう	千種区
1月23日(土)	第36回パッチワーククラブ	東区
1月30日(土)	第32回子育てつどいの広場 in 瑞穂区	瑞穂区
1月31日(日)	あったかお鍋ランチ会 in 田原	田原市

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
Mail: aozora@aichi-shien.net

●詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。